令和7年度

事 業 概 要

千葉県高滝ダム管理事務所

目　　次

１　はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２　事務所の組織　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
（１）組織図
（２）職員構成
（３）所掌事務
３　予算の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
４　令和７年度の主な事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
５　流域の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
６　高滝ダムの役割　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
（１）建設の経緯
（２）ダムの目的
（３）ダムの管理
７　ダム及び貯水池諸元　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８
（１）位置及び形式の選定
（２）ダム諸元
（３）貯水池諸元
（４）放流設備
（５）観測、通信設備
（６）放流警報設備
（７）水質保全等設備
（８）その他設備（貯水池内）
（９）その他設備（流入河川）
８　資　料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０
（１）主な出水記録
（２）流域平均雨量表
（３）警報局等位置図
（４）高滝湖畔公園位置図

１　はじめに（事務所の沿革）

二級河川養老川は、蛇行を繰り返し、過去に幾度となく氾濫しており、昭和36年及び昭和45年には、大雨による洪水が流域に甚大なる被害をもたらしました。

被害を防ぐための改修事業は、昭和初期の沿岸土地改良事業による築堤工事や断片的な災害復旧工事など、部分的な改修工事のみにとどまっていました。

このため、養老川流域の住民の生活安全を確保するための抜本的改修は、流域住民の永年の悲願であると同時に、県をはじめ市原市の大きな課題として、養老川の洪水調節のための本格的なダムの建設が望まれていました。

更に日本経済の発展に伴い、京葉工業地帯の中核である養老川下流域人口の急増、産業の発展に伴う水需要の著しい増加による都市用水確保のための水資源開発も迫られていました。

そこで、洪水調節、水道用水の確保などを目的とした多目的ダム建設を主体とする「養老川総合開発事業」を計画立案し、昭和45年4月に実施計画調査をスタートさせ、昭和47年4月に本事務所の前進である「養老川総合開発調査事務所」を設置し、ダム建設のための調査体制を整えました。

昭和48年12月、高滝ダム予定地の立入り調査に関して、地元住民等の理解が得られたことを受けて、昭和49年4月から高滝ダム建設事業に着手することとなり、同調査事務所を「養老川総合開発事務所」と改称しました。

その後、数次にわたる協議の結果、昭和52年4月及び同年6月に相次いで二つの住民団体と「高滝ダム建設事業に関する協定書」が締結され、更に協議を重ねて昭和54年12月に「用地補償基準額」が締結されたことにより、180haの用地と住家110戸、非住家211棟に及ぶ家屋補償等の取得業務を開始しました。

昭和53年3月には水源地域対策特別措置法に基づき、土地改良や道路整備、公民館等の施設整備に係る「高滝ダム周辺整備事業」が実施されることとなりました。

昭和55年度からは集団移転地造成と県市道の付替及び付帯工事に着手し、昭和61年10月からダム本体工事に入り、昭和62年7月、本体コンクリート打設開始、平成元年6月には本体コンクリートの最終打設式を行い、本体工事を終えました。

その後、平成元年11月に開始した試験湛水が翌年2月に終了し、平成2年4月1日に現在の「高滝ダム管理事務所」が設置されダムの管理を行っています。

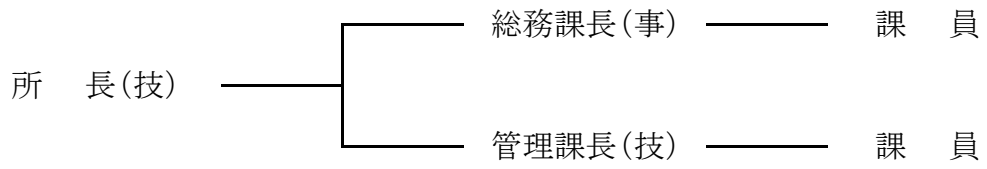
平成20年度には、老朽化した設備を更新する堰堤改良事業に着手し、平成24年度に受変電設備、ダム管理用制御処理設備、各種観測設備、放流警報設備等の各設備の更新を終えました。

現在、計画堆砂量 180 万㎥/100 年を大幅に上回る土砂が貯水池内に堆積し、治水、利水への影響が懸念されることから、継続的な貯水池内の堆積土砂撤去と、出水時におけるダム下流への土砂還元方法について検討を進めています。

また、完成後35年を経過し、老朽化が懸念されるダムの機能を維持するため、長寿命化計画を策定し対策を進めています。

2 事務所の組織

(1)組織図



(2)職員構成

区 分	所 長	課 長	副主幹	副主査	主 事	技 師	計
	1						1
総務課		1			1		2
管理課		1		3		2	6
計	1	2		3	1	2	9

(3)所掌事務

《総務課》

1. 所の総合企画及び調整に関すること。
2. 請負・入札及び契約に関すること。
3. 資材及び物資の需給調達に関すること。
4. 歳入及び歳出予算の執行及び決算に関すること。
5. 所の諸用務に関すること。

《管理課》

1. ダム操作に関すること。
2. ダム及びこれに附帯する施設の維持管理の業務に関すること。
3. ダム及びこれに附帯する施設の新設、改良及び工事の調査・設計・施工・監督に関すること。
4. ダム及びこれに附帯する施設の災害復旧等に関すること。
5. ダムの水質調査に関すること。
6. ダム用地管理に関すること。

3 予算の状況

令 和 7 年 度 当 初 予 算

（単位:千円）

科　目	令和7年度(当初) A	令和6年度(最終) B	前年比 A／B(%)
第9款　土 木 費	1,276,822	924,804	138.1
第1項　土木管理費	293	209	140.2
第1目　土木総務費	293	209	140.2
第3項　河川海岸費	1,276,529	924,595	138.1
第2目　河川改良費	1,276,379	924,445	138.1
第4目　河川海岸費	0	0	－
第5目　水防費	150	150	100.0

4 令和7年度の主な事業

（単位:千円）

事　業　計　画　内　容	事　業　費	摘　要
河川総合開発事業【補助事業】	42,708	
(イ)堰堤改良	42,708	
ダム管理用制御処理設備改良工事等	42,708	
県単河川総合開発事業【単独事業】	1,233,671	
(イ)消費的経費	190,545	治水者負担率
電気機械施設等点検整備委託	48,500	49.7%
貯水池内水質調査委託	20,000	利水者負担率
貯水池内流竹木等処理委託	14,000	県水道:34.6%
流量観測・解析委託	10,000	市水道:15.7%
管理事務所警備委託	11,000	
土壌浄化施設維持清掃委託	10,000	
事前放流判断支援	2,000	
貯水池内堆砂測量委託	20,000	
貯水池内周辺管理(除草)委託	33,600	
その他委託	1,948	
共同施設維持管理費負担金等	10,500	
消耗品・修繕費	6,645	
補償費及び役務費等	2,352	
(ロ)投資的経費	1,043,126	
貯水池内堆砂土掘削工事等	667,626	
貯水池内堆砂対策工事等	95,000	
貯砂ダム堆積土掘削工事	130,000	
万田野貯砂施設築造工事	117,000	
護岸工事	1,000	
工事監督支援	20,000	
土壌浄化施設流量計外設置工事委託等	12,500	

５　流域の概要

養老川は、その源を清澄山系に発し、北方に流下しながら、その中流付近より著しい蛇行を繰り返し、古敷谷川、平蔵川、内田川と合流し、京葉工業地帯の中核である市原市五井地先で東京湾に注いでいる。

流域面積は245．9k㎡、流路延長は75km の二級河川である。

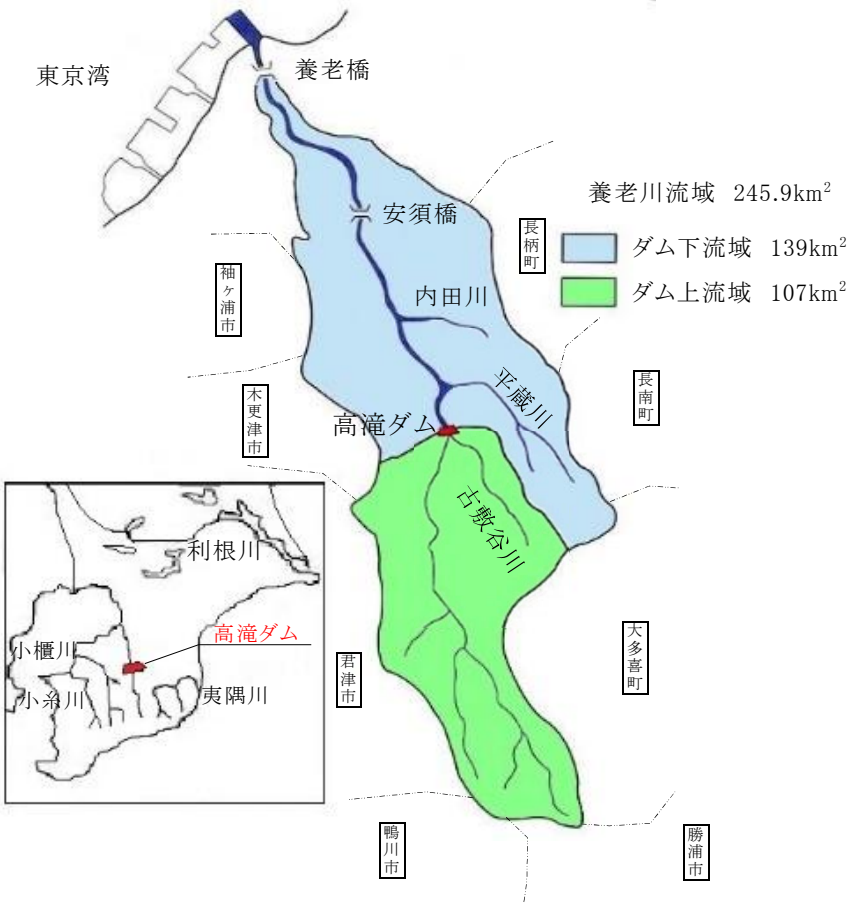
養老川の最上流部、清澄山系は、年平均雨量が2，000mmを超える房総半島の中でも多雨地帯に属する。

地質は、上流から第三紀鮮新世の豊岡亜層群、関亜層群、秋元亜層群及び第四紀洪積世の鶴舞亜層群、成田層群その他段丘堆積物等、全て堆積層により構成されており、地形は上流から中流にかけては河岸段丘の発展が著しく、特に上流は川幅に比べて河床が深く洗掘されて渓谷をなしているのに対し、下流では川幅に比べて川床の浅い沖積河道をなしている。

利水状況は、ダム軸上流では、取水施設10か所、かんがい面積261．7ha、最大取水量0．536㎥／sの農業用水と県水道1．1㎥／s（最大）、市原市水道0．5㎥／s （最大）が水道用水として取水している。

ダム軸下流では、取水施設36か所、かんがい面積2，180ha、最大取水量3．81㎥／sの農業用水と西広地先で最大2．08㎥／sの取水をしている工業用水がある。

【養老川流域図】



6 高滝ダムの役割

(1)建設の経緯

高滝ダムは、「養老川の氾濫」による被害を軽減し、「人口の増加」による水道水の確保と既存の農業用水の安定供給を図るため、「治水及び利水」を目的とした「多目的ダム」として、実施計画調査に着手し、以来21年を経て平成2年3月に完成した。

昭和33年 ・・・・ ダム候補地の選定
昭和45年 ・・・・ 実施計画調査
昭和49年 ・・・・ 養老川総合開発事務所を開設し、建設事業に着手
昭和61年 ・・・・ ダム本体工事着手
昭和62年 ・・・・ ダム本体コンクリート打設開始
平成元 年 ・・・・ 試験湛水開始
平成 2年 ・・・・ 本体完成

①養老川の氾濫

養老川は、過去に何度も氾濫し、特に昭和36年及び45年に河川沿岸に大きな被害をもたらした。被害状況(氾濫面積、堤防決壊数、浸水家屋数、死傷者数)は、次のとおり。

昭和36年 ・・・・ 1，400ha、7か所、800棟、3人
昭和45年 ・・・・ 1，504ha、5か所、767棟、15人

②人口の増加等

京葉工業地帯の発展とともに、地下水利用の規制や増加する人口に対応する水資源が必要となった。

(2)ダムの目的

ダムは、洪水の調節及び流水の正常な機能の維持、並びに農業用水や水道用水、工業用水の安定確保を図るため、放流量と貯水量を調節し、きれいな河川の保全に努めている。

この放流量の調節により、多目的ダムとしての目的を果たしている。

①洪水の調節

洪水時にはダムに一部貯留し、下流への河川流量を低減させ、洪水被害を軽減する。

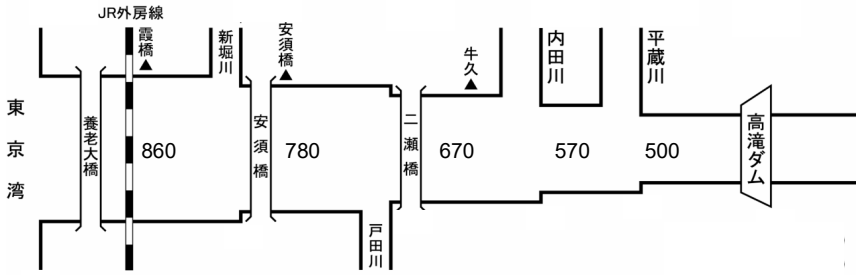
洪 水 ・・・・・・・ 高滝ダムは、ダムへの流入量が190㎥／s以上の場合を洪水とよび、洪水調節を行っている。
(通常、平水時の流入量は1～2㎥／s程度)

調節方法 ・・・・ ダム地点での計画高水(たかみず)流量(最大流入量)は、1，110㎥／sで、このうち最大610㎥／sをダムに一時貯留し、残る500㎥／sを放流する。
この調節により、下流の洪水流量の低減が図られる。

＊ 平成24年3月の操作規則の変更に伴い洪水調節開始流量を 100 ㎥/s から 190 ㎥/s に、一定量放流量を 830 ㎥/s から 500 ㎥/s に変更した。

【養老川流量配分図】

［暫々定・現行］下流河道流下能力勘案※



※この計画は現況流下能力と下流河道整備状況を勘案し、当面の治水安全度の最適化を図る目的で策定されたものであり、河川法改正に基づく「河川整備基本方針」及び「河川整備計画」については、現在、策定中です。

【洪水調節のしくみ】

高滝ダムの洪水調節は、次のように①～④の手順に行っている。

①ダムへの流入量が190㎥／sを超えると調節を開始する。（190㎥／sまでは「流入量＝放流量」で放流を行う。）

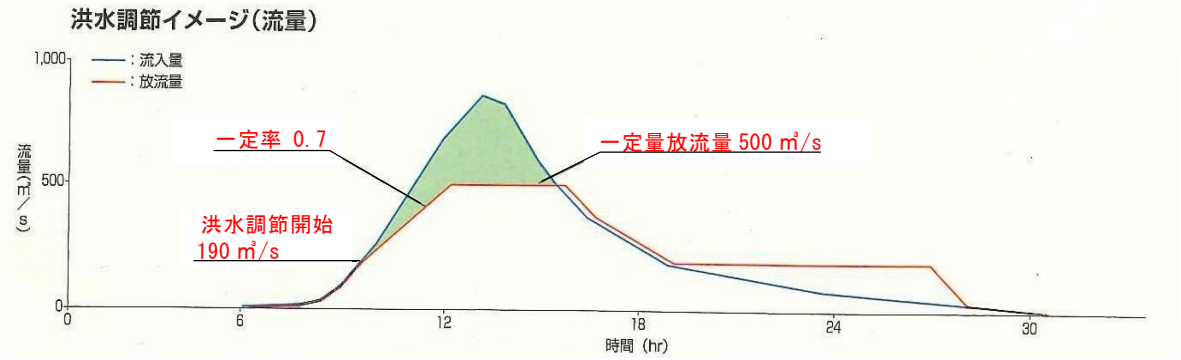
②一定の率で放流量を増加させる。（一定率）

③流入量がピーク時の放流量を維持する。（一定量）

④放流量を減少させる。

洪水調節方法

この図は高滝ダムの洪水調節イメージです。青い線が高滝ダムへの流入量、赤い線が下流への放流量です。緑で着色された部分の洪水調節容量を有効活用し、放流波形を平たくすることにより、下流の被害軽減を図ることができます。



②流水の正常な機能の維持（不特定用水）

ダムは、下流の渇水を防ぎ、川の自然を守るために平水時でも常に維持放流を行っている。

③水道用水等の確保

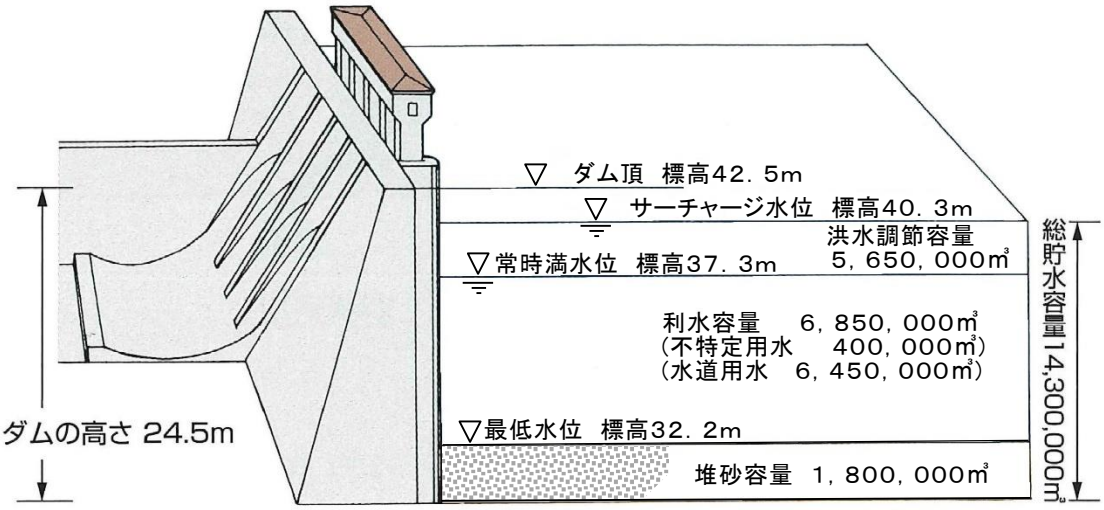
ダムに貯めた水を水道水等に供給する。

高滝ダムの水は、主に千葉県営水道に最大95，000㎥／日（1．1㎥／s）、市原市営水道に最大43，200㎥／日（0．5㎥／s）の水道用水を供給している。

水道水としては、1日最大58万人分（1人当り約240ﾘｯﾄﾙ分）の生活用水を確保していることになる。

【ダム貯水池容量配分図】

ダム貯水池の総貯水量は、常時水を貯めておく利水容量と、洪水時に一部貯留する洪水調節容量の2つの部分からなる有効貯水容量及び堆砂量の部分を総称している。



(3)ダムの管理

ダムの目的を達成するために、次の管理を行っている。

①流域の安全確保

養老川流域の人々と財産の安全確保を図るため、気象観測関係設備・放流警報関係設備等を設置し、必要に応じて情報を確認・提供するとともにパトロールを実施する。

なお、警報は「放流により下流域の水位上昇が30分で30cm以上と予想される場合」及び「緊急放流を行う場合」等に警報局からスピーカー放送を行う。

②堆砂量の調査及び浚渫

貯水池への堆砂は、貯水容量の減少、放流設備の埋没、貯水池上流の河床の上昇に伴う水害の発生の原因等多くの問題が発生するため、毎年浚渫を実施している。

③水質の管理

本ダムの水質は、湛水開始以来、際立った汚濁が進んでいる地点はなく、ほぼ横ばいの状態であり、比較的均質な水質を示している。

また、上流の市原市石神地先に土壌浄化施設を設置し、定期的な水質検査と水質の監視に努めているが、水質の保持を図るには、家庭雑排水や産業排水の除害施設の改善、更にはごみの不法投棄防止等のモラルが求められている。

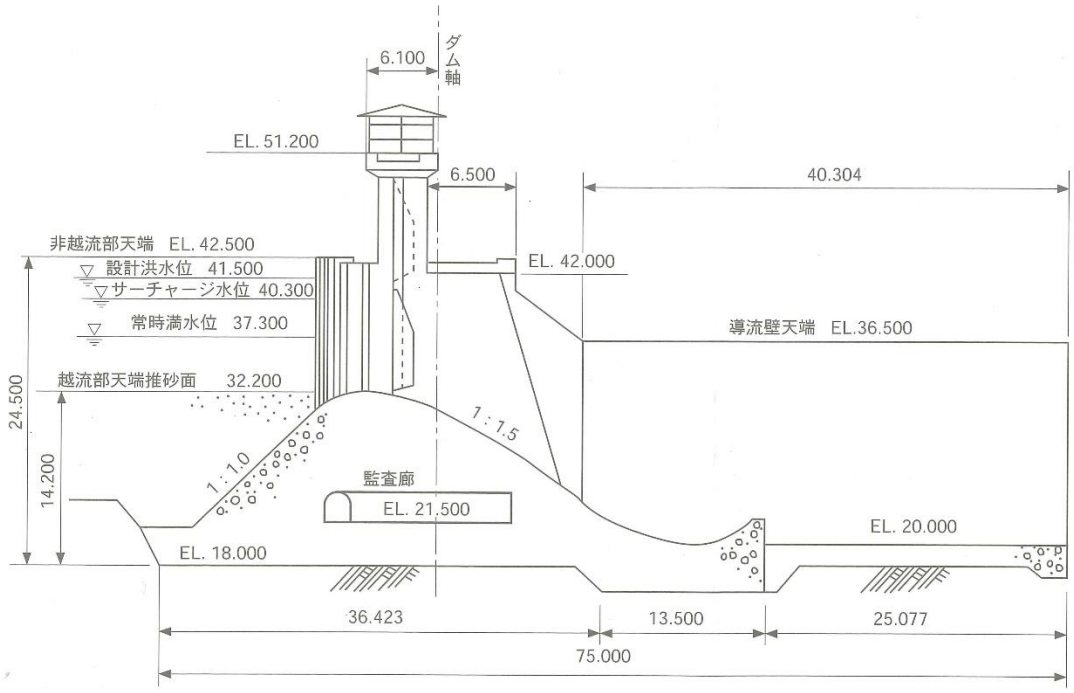
7 ダム及び貯水池諸元

(1)位置及び形式の選定

治水機能及び地形・地質等から河口から35km地点の市原市養老地先に重力式コンクリートダムを設置

(2)ダム諸元

位　置 ‥‥ 左 岸 ： 千葉県市原市大字養老字寺ノ下
　　右 岸 ： 千葉県市原市大字養老字番後代
形　式 ‥‥ 重力式コンクリートダム
堤　高 ‥‥ 24．5m
堤 頂 長 ‥‥ 379m(越流部51m，非越流部328m)
堤 体 積 ‥‥ 78，000㎥
越流部標高 ‥‥ 32．2m
非越流部標高 ‥‥ 42．5m
【越流部標準断面図】



(3)貯水池諸元

集水面積 ‥‥ 107．1k㎡
湛水面積 ‥‥ 1．99k㎡
総貯水容量 ‥‥ 14，300千㎥
有効貯水容量 ‥‥ 12，500千㎥
常時満水位 ‥‥ 標高37．30m
ｻｰﾁｬｰｼﾞ水位 ‥‥ 標高40．30m
設計洪水位 ‥‥ 標高41．50m

(4)放流設備

洪水吐設備 ・・・・ 鋼製ローラーゲート ： 幅10．5m×高8．9m×4門
（放流量約65㎥／s以上になる場合に使用、最大放流能力2，500㎥／s）
小洪水吐設備 ・・・・ 鋼製ローラーゲート ： 幅3．1m×高2．2m
放流管 ： 幅2．6m×高2．4～2．2m
（放流量約5㎥／s以上～65㎥／s未満の場合に使用）
低水放流設備 ・・・・ ホロージェットバルブ ： 径0．8m
放流管 ： 径0．9m
（5㎥／s未満の通常放流に使用、洪水吐使用時は全閉となる）

(5)観測、通信設備

雨量観測所 ・・・・ 4か所（事務所、檜川橋、国本、妙香橋）
水位観測所 ・・・・ 6か所（事務所、檜川橋、持田崎、古敷谷、妙香橋、西広堰）

(6)放流警報設備

警 報 局 ・・・・ 13局（サイレン、スピーカー）
立 て 札 ・・・・ 23枚
電光掲示板 ・・・・ 2か所

(7)水質保全等設備

浮産卵礁 ・・・・ 合成樹脂のマットに葦を植えたイカダ型で、アユ、コイ、フナ等の水産資源を育成する（3か所）
土壌浄化施設 ・・・・ 富栄養化の要因となる窒素、リン等を軽減するための前処理施設（曝気付ひも状接触酸化槽、ひも状接触酸化槽各2層）及び土壌浄化施設（浄化槽3槽）を設置

(8)その他設備（貯水池内）

流木止設備 ・・・・ 網場（水面下1．5m）
各取水施設 ・・・・ 県水道・市水道の取水場、農業用水取水機場10か所
繋船設備 ・・・・ 巡視船「たかたき」

(9)その他設備（流入河川）

貯砂ダム ・・・・ 高滝ダムに流入してくる砂を防ぐため設置

日竹貯砂ダム（平成11年6月完成）
ダム形式 ・・・ コンクリート重力式
ダ ム 高 ・・・ 3．2m
ダム頂長 ・・・ 82．1m
ダム体積 ・・・ 1，030㎥
貯砂容量 ・・・ 21，845㎥

古敷谷貯砂ダム（平成12年3月完成）
ダム形式 ・・・ コンクリート重力式
ダ ム 高 ・・・ 5．0m
ダム頂長 ・・・ 45．5m
ダム体積 ・・・ 1，050㎥
貯砂容量 ・・・ 15，300㎥

（1）主な出水記録（ピーク流入量100m³／s～）

出水No	出水月日	降雨継続時間（hr）	連続雨量 流域平均（mm）	連続雨量 檜川橋（mm）	連続雨量 国本（mm）	連続雨量 国本／檜川（%）	最大時間雨量 流域平均（mm）	最大時間雨量 ピーク雨量発生日時	最大時間雨量 檜川橋（mm）	最大時間雨量 国本（mm）	ダム地点流入量 ピーク流入量（m³/s）	ダム地点流入量 ピーク流入量発生日時	ダム地点流入量 継続時間(hr) 60 m³/s以上	ダム地点流入量 継続時間(hr) 5 m³/s以上	降雨原因等
平成 2年															
1	3/31	15	104	150	85	57	19	3/31 23:00	24	19	198.09	3/31 0:52	7	67	南岸に停滞した前線上を低気圧通過
12	7/13	19	74	127	45	35	25	7/13 6:00	46	14	169.17	7/13 9:22	3	38	低気圧日本海中部停滞。別の低気圧房総沖を通過
14	8/10	19	106	100	120	120	22	8/10 8:00	20	26	135.34	8/10 8:10	8	34	台風11号南海上から接近
17	9/30	20	199	253	180	71	41	9/30 19:00	56	40	523.67	9/30 21:26	10	57	台風20号関東通過
22	11/4	19	91	104	87	84	18	11/4 12:00	26	15	167.19	11/4 15:22	8	66	低気圧が発達しながら本州縦断
25	11/30	73	283	331	266	80	18	11/30 15:00	19	17	252.34	11/30 17:08	29	125	本州南岸の停滞前線と台風28号通過
平成 3年															
2	2/16	24	95	112	93	83	12	2/16 22:00	15	14	119.98	2/16 0:28	8	44	日本海と本州南岸を猛烈に発達した低気圧(980mb二つ玉)が通過
18	8/20	16	88	77	96	125	25	8/20 12:00	34	22	103.66	8/20 15:25	4	32	大型で並の強さの台風12号が本州南海上を西北西に通過
19	9/8	12	100	74	101	136	22	9/8 9:00	20	35	148.39	9/8 11:09	4	60	大型で強い台風15号が八丈島南南西海上を北上
21	9/19	37	200	257	190	74	20	9/19 14:00	34	20	254.52	9/19 17:36	19	105	大型で並の強さの台風18号が本州南岸の停滞前線刺激、房総沖通過
24	10/8	71	163	190	151	79	16	10/8 2:00	23	20	202.03	10/8 3:59	13	410	大型で非常に強い台風21号が本州南岸の秋雨前線を活発化
25	10/9	42	78	89	72	81	9	10/9 20:00	11	8	107.58	10/9 23:17	10	上に含む	南大東島東北東の大型で強い台風21号が関東南部の秋雨前線を活発化
26	10/11	38	181	209	158	76	14	10/11 19:00	18	13	204.67	10/11 20:38	29		八丈島南西の大型で強い台風21号が関東南部の秋雨前線を活発化
27	10/13	17	126	140	124	89	14	10/13 9:00	17	16	273.06	10/13 11:32	19		関東南海上の大型で並の強さの台風21号が東北東へ進む
平成 4年															
14	4/30	5	67	79	69	87	25	4/30 14:00	31	31	141.54	4/30 16:53	5	42	前線を伴った発達した低気圧が房総沖通過
15	5/10	30	99	137	76	55	13	5/10 6:00	24	10	152.83	5/10 10:55	7	51	本州南岸沿いの停滞前線上を低気圧が東進
19	5/30	12	91	98	75	77	14	5/30 17:00	19	12	117.42	5/30 23:13	7	55	房総沖と紀伊半島沖の低気圧が東進
24	6/23	25	120	132	107	81	13	6/23 1:00	16	12	168.96	6/23 4:32	15	187	発達した低気圧が大島沖通過
平成 5年															
15	7/5	12	92	119	72	61	20	7/5 11:00	21	16	168.21	7/5 13:16	8	106	本州南岸の梅雨前線上を低気圧が通過
22	8/27	33	211	276	163	59	21	8/27 7:00	30	14	365.55	8/27 11:48	17	102	中型で強い台風11号が関東南海上から北上し、九十九里浜を通過
30	10/8	40	113	138	99	72	16	10/8 17:00	19	14	120.43	10/8 21:31	7	66	本州南海上を北東に進んだ台風19・20号の影響
31	11/13	22	94	98	94	96	20	11/13 23:00	24	19	179.86	11/13 2:10	7	54	関東及び日本海にある前線を伴った低気圧が東北東へ進む
32	11/21	28	84	80	85	106	25	11/21 10:00	34	20	116.79	11/21 13:01	4	54	日本海にある低気圧から伸びる寒冷前線が通過

（1）主な出水記録（ピーク流入量100m³／s～）

出水No	出水月日	降雨継続時間（hr）	連続雨量				最大時間雨量				ダム地点流入量				降雨原因等
			流域平均（mm）	檜川橋（mm）	国本（mm）	国本／檜川（%）	流域平均（mm）	ピーク雨量発生日時	檜川橋（mm）	国本（mm）	ピーク流入量（m³/s）	ピーク流入量発生日時	継続時間(hr) 60 m³/s以上	継続時間(hr) 5 m³/s以上	
平成 6年															
1	2/21	19	89	111	75	68	13	2/21 13:00	18	10	151.94	2/21 16:15	7	48	前線を伴った南岸低気圧が猛烈に発達しながら房総半島の南を通過
2	3/8	18	95	131	83	63	16	3/8 21:00	30	16	121.54	3/8 23:49	8	83	前線を伴った低気圧が発達しながら日本海を通過
4	3/23	29	143	186	125	67	14	3/23 23:00	19	11	201.64	3/23 1:14	11	75	前線を伴った低気圧が南岸を通過、日本海にも低気圧
平成 7年															
10	5/12	11	72	67	78	116	11	5/12 22:00	14	13	115.71	5/12 1:15	6	56	動きの遅い前線を伴った低気圧が南岸を通過
11	5/15	20	128	159	115	72	13	5/15 0:00	17	13	183.67	5/15 2:40	13	80	前線を伴った低気圧が発達しながら南岸を通過
13	6/3	8	84	104	77	74	34	6/3 3:00	33	39	145.91	6/3 6:14	6	56	日本海に前線を伴った低気圧が発達しながら通過
19	9/17	34	271	309	232	75	23	9/17 11:00	26	21	300.03	9/17 13:10	18	63	南岸に停滞前線・超大型で非常に強い台風12号が房総沖を通過
平成 8年															
14	7/10	65	389	416	357	86	19	7/10 10:00	17	20	247.38	7/10 11:12	42	123	南岸に停滞前線・台風5号が房総沖を通過
18	9/22	18	308	409	217	53	35	9/22 14:00	61	28	822.52	9/22 15:26	18	81	速度が遅く大型で強い台風17号が房総沖を通過
平成 9年															
11	5/24	20	111	122	197	161	24	5/24 3:00	22	24	149.51	5/24 3:56	8	41	日本海と本州南岸を寒気を伴った低気圧が通過。二っ玉低気圧
14	6/20	15	87	79	98	124	16	6/20 14:00	15	18	103.40	6/20 17:40	6	41	中型で強い台風7号が千葉県を通過
平成10年															
21	7/22	13	74	83	80	96	17	7/22 23:00	22	18	119.06	7/22 3:10	4	144	本州南海上の梅雨前線が活発化。前線上を低気圧が通過
29	9/15	11	105	89	108	121	26	9/15 3:00	22	28	198.62	9/15 5:51	8	54	台風5が静岡に上陸し北日本へ向かう
平成11年															
6	4/11	27	111	82	43	52	13	4/11 13:00	20	10	148.06	4/11 17:14	9	73	紀伊半島に前線を伴った発達中の低気圧が東進
7	4/24	29	129	166	94	57	22	4/24 16:00	31	18	237.57	4/24 19:06	11	90	東海上に前線を伴った低気圧が東進
8	5/5	17	95	139	82	59	12	5/4 23:00	15	11	108.74	5/5 3:28	8	50	発達中の低気圧が南海上から暖かく湿った空気が流れ込み大気の状態を不安定
15	7/13	17	170	179	171	96	31	7/13 21:00	32	39	303.09	7/13 23:00	18	66	弱い熱帯低気圧が、ゆっくり東へ進み、また暖かく湿った空気が流込んだ影響
17	10/27	13	122	114	125	110	26	10/27 20:00	14	27	160.87	10/27 22:07	7	25	紀伊半島の南海上に発達中の低気圧が東北東に進み関東地方を通過
平成12年															
5	3/28	8	71	75	81	108	21	3/29 1:00	23	25	132.95	3/29 4:50	5	27	日本海西部に発達中の低気圧があって東に進み、前線が通過。
6	6/10	20	81	93	77	83	17	6/14 2:00	20	17	117.92	6/14 6:19	7	125	関東の南海上にある梅雨前線が停滞し、南海上を低気圧が通過
14	7/7	20	213	242	185	76	36	7/7 22:00	40	29	365.56	7/8 8:10	16	50	台風3号が八丈島の南海上を北北東に進み、東北地方の太平洋沿岸を北へ進む

（1）主な出水記録（ピーク流入量100m³／s～）

出水No	出水月日	降雨継続時間（hr）	連続雨量 流域平均（mm）	連続雨量 檜川橋（mm）	連続雨量 国本（mm）	連続雨量 国本／檜川（%）	最大時間雨量 流域平均（mm）	最大時間雨量 ピーク雨量発生日時	最大時間雨量 檜川橋（mm）	最大時間雨量 国本（mm）	ダム地点流入量 ピーク流入量（m³/s）	ダム地点流入量 ピーク流入量発生日時	ダム地点流入量 継続時間(hr) 60 m³/s以上	ダム地点流入量 継続時間(hr) 5 m³/s以上	降雨原因等
平成13年															
2	1/9	12	83	—	83	—	13	1/10 7:00	15	14	124.17	1/10 9:21	8	37	日本海に発達中の低気圧があって北東進
20	10/10	15	148	181	134	74	23	10/10 19:00	26	23	316.40	10/10 21:27	13	89	日本海には前線を伴った低気圧があって北東進
平成14年															
2	1/26	14	92	122	79	65	24	1/27 7:00	36	21	110.35	1/27 12:13	5	31	発達中の低気圧が、関東の南海上を東北東に進む。
9	6/18	13	81	93	77	83	16	6/18 12:00	21	14	104.29	6/18 16:42	6	39	関東の南海上には、発達中の低気圧があって東北東進
11	6/29	8	62	75	54	72	16	6/30 3:00	18	15	114.07	6/30 7:00	5	14	梅雨前線の北上で大気の状態が不安定
12	7/10	10	85	88	96	109	19	7/11 0:00	19	20	132.12	7/11 2:42	6	42	台風6号が千葉県にあって北東に進む
17	8/23	6	50	76	42	55	27	8/24 3:00	33	28	119.59	8/24 6:36	6	59	大気の状態が不安定
19	9/27	14	66	105	37	35	12	9/28 7:00	24	8	118.13	9/28 11:27	7	19	前線を伴った低気圧の東進で、大気の状態が不安定となっている
20	9/30	8	50	47	48	102	17	10/1 17:00	15	12	132.30	10/1 19:33	7	84	強い台風第21号の通過
平成15年															
1	1/3	10	80	93	77	83	17	1/4 0:00	20	20	115.80	1/4 4:01	7	42	南海上を低気圧が通過
3	1/27	9	75	92	79	86	14	1/27 20:00	20	15	156.08	1/28 0:45	5	44	低気圧が発達しながら日本海を北東に進む
5	3/1	12	92	116	95	82	18	3/2 0:00	23	19	183.29	3/2 2:51	6	30	発達中の低気圧が関東地方南部を通過
20	8/13	79	270	278	263	95	15	8/15 11:00	18	16	190.47	8/15 14:14	20	148	大気の状態が不安定、気圧の傾きが急となっている。
30	11/25	15	108	149	89	60	26	11/25 16:00	40	17	229.13	11/25 19:24	8	76	低気圧が関東の南海上を東進、気圧の傾きが急となっている
31	11/29	42	122	189	130	69	29	11/30 9:00	36	28	231.48	11/30 12:16	8	140	低気圧が関東の南海上を通過する
平成16年															
2	3/30	10	74	103	62	60	15	3/30 22:00	24	12	113.53	3/31 3:15	5	40	関東の東海上に発達した低気圧があり東進する。
18	10/3	28	132	144	129	90	18	10/5 9:00	24	18	132.01	10/5 19:54	13	100	前線上に低気圧が発生し、関東南部を通過
19	10/8	30	301	373	265	71	40	10/9 2:00	53	33	554.42	10/9 5:38	24	177	南海上にある前線の活動が活発になる。その後、台風22号による影響
20	10/19	47	157	141	165	117	15	10/21 0:00	14	18	113.63	10/21 1:49	10	105	本州南岸に活動が活発な前線が停滞。その後、台風23号による影響
21	10/30	23	101	126	90	71	23	10/31 6:00	25	25	168.80	10/31 9:15	7	108	秋雨前線が南岸に停滞し、暖湿流が前線に流れ込み活動が活発
22	11/11	15	97	123	91	74	31	11/12 5:00	49	26	138.17	11/12 9:17	8	64	活発な前線が東海沖にあり、また、前線を伴う低気圧が日本海を東進する。

（1）主な出水記録（ピーク流入量100m³／s～）

出水No	出水月日	降雨継続時間（hr）	連続雨量 流域平均（mm）	檜川橋（mm）	国本（mm）	国本／檜川（%）	最大時間雨量 流域平均（mm）	ピーク雨量発生日時	檜川橋（mm）	国本（mm）	ダム地点流入量 ピーク流入量（m³/s）	ピーク流入量発生日時	継続時間(hr) 60 m³/s以上	5 m³/s以上	降雨原因等
平成17年															
8	5/30	32	129	161	113	70	17	5/31 2:00	22	14	159.19	5/31 5:20	7	57	南海上の動きの遅い低気圧による影響
13	6/22	10	93	106	91	86	21	6/22 10:00	26	18	180.07	6/22 13:44	7	69	梅雨前線による影響
16	7/9	7	58	77	50	65	22	7/10 2:00	32	20	120.20	7/10 5:37	3	48	梅雨前線による影響
19	8/25	30	281	329	277	84	35	8/25 0:00	45	34	395.29	8/26 7:48	14	76	台風11号による影響
平成18年															
1	1/14	13	102	105	96	91	39	1/14 18:00	35	37	142.16	1/14 21:15	6	34	南岸低気圧による影響
9	4/11	30	168	134	221	165	32	4/12 8:00	21	53	363.70	4/12 9:52	10	69	山陰沖の低気圧ゆっくり東進。東日本を前線が東進
20	9/26	16	124	142	109	77	21	9/26 19:00	25	26	183.50	9/26 21:55	7	67	低気圧を伴った前線による影響
21	9/27	4	64	81	57	70	43	9/27 12:00	59	37	196.66	9/27 15:51	5	上に含む	低気圧が本州南岸から北上
23	10/5	50	250	308	213	69	17	10/6 21:00	21	15	262.19	10/6 14:56	26	110	伊豆半島の南に低気圧発生、急発達
28	12/26	21	226	224	245	109	36	12/26 20:00	32	40	421.95	12/26 22:47	16	89	南海上を低気圧が発達しながら北東進
平成19年															
17	7/14	39	245	266	251	94	20	7/14 22:00	28	30	251.50	7/15 4:21	24	133	台風4号及び梅雨前線の活動活性化
20	9/6	20	136	148	125	84	19	9/7 3:00	21	19	109.62	9/7 7:30	8	42	台風9号が伊豆諸島の西海上を北上
21	9/11	24	103	103	100	97	33	9/12 6:00	32	34	144.40	9/12 8:14	7	53	前線が顕在化し関東から四国地方にのびる
23	10/26	42	159	205	119	58	16	10/27 18:00	24	13	253.55	10/27 19:52	12	63	台風20号が日本の南を北上
平成20年															
6	4/7	26	94	143	44	31	11	4/8 9:00	21	2	179.37	4/8 11:47	8	51	上空に寒気を伴った低気圧が急発達しながら本州南部を通過
8	4/17	16	68	88	55	63	10	4/17 7:00	12	8	116.86	4/18 11:16	6	66	前線を伴った低気圧がゆっくり本州の南海上を通過
13	5/19	12	99	78	116	149	24	5/20 6:00	12	35	181.14	5/20 8:37	4	65	前線を伴った発達中の低気圧が関東付近を北東進
32	10/23	23	121	160	111	69	26	10/23 19:00	36	24	171.46	10/23 22:30	9	67	上空の気圧の谷が通過し、湿った空気が流入
平成21年															
1	1/30	12	95	99	83	84	16	1/31 5:00	22	13	220.37	1/31 8:50	7	44	低気圧が発達しながら本州南岸を通過
5	3/6	11	63	80	56	70	15	3/6 15:00	19	14	114.93	3/6 18:30	5	52	本州南岸を前線を伴った低気圧が北東進
13	5/28	25	116	153	98	64	22	5/29 0:00	32	17	143.64	5/29 3:50	10	31	低気圧の影響
22	8/10	28	156	142	154	108	36	8/10 16:00	27	35	124.20	8/10 17:43	5	72	台風9号の影響
27	10/8	11	73	71	74	104	20	10/8 3:00	18	20	154.32	10/8 6:26	7	50	台風18号の影響

（1）主な出水記録（ピーク流入量100m³／s～）

出水No	出水月日	降雨継続時間（hr）	連続雨量				最大時間雨量					ダム地点流入量				降雨原因等
			流域平均（mm）	檜川橋（mm）	国本（mm）	国本／檜川（%）	流域平均（mm）	ピーク雨量発生日時		檜川橋（mm）	国本（mm）	ピーク流入量（m³/s）	ピーク流入量発生日時		継続時間(hr) 60 m³/s以上	継続時間(hr) 5 m³/s以上	
平成22年																
2	2/26	16	83	108	74	69	22	2/27	8:00	28	21	140.44	2/27	11:26	6	29	本州南岸の低気圧の影響
28	9/28	34	230	304	198	65	21	9/28	4:00	30	18	238.93	9/28	7:37	7	68	南岸の低気圧の影響
32	10/10	8	83	101	60	59	27	10/10	6:00	29	20	183.89	10/10	10:49	13	59	低気圧や前線の影響
36	10/30	20	91	120	72	60	10	10/30	18:00	12	8	118.42	10/30	19:48	14	46	台風14号の影響
37	11/1	9	74	77	70	91	34	11/1	5:00	19	37	218.82	11/1	7:46	7	59	関東南岸を通過した低気圧の影響
平成23年																
9	6/13	8	59	50	56	112	23	6/13	7:00	22	22	102.33	6/13	9:00	5	71	上空に寒気が流入
14	10/5	18	102	－	108	－	19	10/5	20:00	－	23	172.66	10/5	23:36	7	46	台風17号の影響
15	10/22	20	95	112	90	80	22	10/22	4:00	24	22	155.76	10/22	7:54	7	63	湿った暖気の流入
17	11/19	18	102	158	80	51	16	11/19	17:00	23	14	111.57	11/19	21:39	8	45	低気圧の影響（二つ玉低気圧）
18	12/3	12	75	120	58	48	25	12/3	10:00	40	20	142.89	12/3	14:19	5	41	低気圧の影響（二つ玉低気圧）
平成24年																
5	3/5	15	73	108	61	56	11	3/5	14:00	16	10	104.96	3/5	19:02	6	80	前線の影響
14	5/2	31	136	184	118	64	11	5/3	1:00	15	10	142.36	5/3	6:28	12	68	低気圧の影響
20	6/19	10	91	91	98	108	24	6/19	23:00	27	24	163.03	6/20	1:43	6	113	台風4号の影響
22	7/3	8	70	120	53	44	17	7/3	19:00	32	12	139.76	7/4	1:19	4	47	梅雨前線の影響
29	10/28	11	62	96	51	53	14	10/29	2:00	25	16	109.69	10/29	6:37	3	45	低気圧の影響
35	12/30	7	63	77	54	70	18	12/30	20:00	24	15	113.99	12/30	23:12	6	39	低気圧の影響
平成25年																
5	4/6	12	96	117	100	85	16	4/6	21:00	22	19	139.49	4/7	2:31	9	55	低気圧の影響
19	10/15	21	328	339	318	94	35	10/16	5:00	32	35	575.65	10/16	7:12	18	55	台風26号の影響
20	10/20	25	105	117	100	85	24	10/20	11:00	24	23	174.77	10/20	15:00	6	71	気圧の谷に伴う大きな雨雲の影響
平成26年																
3	2/14	20	96	92	99	108	26	2/15	8:00	19	34	194.67	2/15	10:18	11	43	低気圧の影響
12	6/5	61	258	321	241	75	24	6/6	22:00	29	24	287.20	6/7	2:34	24	91	低気圧の影響
19	10/5	32	186	179	84	47	21	10/6	10:00	18	23	116.01	10/6	12:37	6	45	台風18号の影響
23	11/25	28	56	62	53	85	5	11/26	3:00	4	6	111.84	11/26	16:13	0	36	前線を伴った低気圧の影響

（1）主な出水記録（ピーク流入量100m³／s～）

出水No	出水月日	降雨継続時間（hr）	連続雨量				最大時間雨量					ダム地点流入量					降雨原因等
			流域平均（mm）	檜川橋（mm）	国本（mm）	国本／檜川（%）	流域平均（mm）	ピーク雨量発生日時		檜川橋（mm）	国本（mm）	ピーク流入量（m³/s）	ピーク流入量発生日時		継続時間(hr) 60 m³/s以上	継続時間(hr) 5 m³/s以上	
平成27年																	
19	7/8	22	95	105	84	80	17	7/9	2:00	21	16	118.27	7/9	5:58	10	60	梅雨前線の影響
23	9/6	64	345	339	343	101	33	9/10	3:00	18	41	259.02	9/10	13:15	22	136	台風18号の影響
24	9/16	37	115	138	110	80	11	9/18	6:00	12	8	140.98	9/18	12:00	4	100	前線の影響影響
31	12/11	12	79	90	82	91	17	12/11	8:00	20	18	119.22	12/11	12:45	4	32	
平成28年																	
2	2/20	11	72	90	66	73	19	2/20	23:00	26	16	104.78	2/21	2:33	4	39	低気圧の影響
14	6/13	12	82	101	75	74	17	6/13	8:00	20	17	107.93	6/13	11:33	5	46	梅雨入り
21	8/22	19	111	119	83	70	14	8/22	9:00	19	10	133.73	8/23	13:52	11	79	台風9号の影響
25	9/19	49	177	225	152	68	26	9/22	13:00	47	18	224.64	9/22	16:23	9	159	台風の接近に伴う秋雨前線の活発化
平成29年																	
1	1/8	18	89	110	81	74	16	1/8	23:00	23	17	138.84	1/9	2:12	4	49	東の低気圧の影響
4	4/17	16	84	115	68	59	17	4/18	3:00	31	17	114.43	4/18	11:02	7	49	低気圧の発達
12	9/28	15	158	206	135	66	58	9/28	7:00	56	58	387.68	9/28	10:40	7	56	前線と低気圧の通過の影響
14	10/22	50	248	264	234	89	20	10/22	12:00	27	24	288.85	10/22	16:19	27	137	台風21号
15	10/29	26	156	193	137	71	39	10/29	20:00	64	28	271.38	10/29	23:08	15	87	台風22号
18	11/23	14	93	114	90	79	22	11/23	8:00	24	22	177.29	11/23	11:50	7	50	本州南岸を低気圧が通過
平成30年																	
4	3/8	30	104	104	112	108	11	3/9	9:00	13	15	121.42	3/8	11:01	6	62	前線を伴った低気圧の影響
12	6/20	17	90	86	98	114	21	6/21	3:00	20	26	133.68	6/21	5:10	8	68	梅雨前線の影響
22	9/30	14	121	142	99	70	19	9/30	7:00	23	20	189.48	9/30	10:17	9	75	台風24号
令和元年																	
6	6/9	31	113	196	51	26	16	6/10	16:00	32	8	186.63	6/10	19:41	1	66	梅雨前線の影響
10	9/8	11	223	210	214	102	57	9/9	3:00	47	63	417.71	9/9	7:12	9	43	台風15号
12	10/11	43	181	146	152	104	17	10/12	15:00	14	19	206.40	10/12	20:09	16	107	台風19号
13	10/19	10	85	122	65	53	25	10/19	6:00	39	17	227.50	10/19	9:11	7	58	停滞前線の影響
15	10/25	13	249	279	206	74	55	10/25	11:00	53	52	777.03	10/25	14:34	15	90	低気圧及び台風21号
16	11/22	50	170	222	127	57	8	11/23	23:00	13	7	123.02	11/24	3:44	17	133	停滞前線の影響

（1）主な出水記録（ピーク流入量100m³／s～）

出水No	出水月日	降雨継続時間（hr）	連続雨量				最大時間雨量				ダム地点流入量				降雨原因等
			流域平均（mm）	檜川橋（mm）	国本（mm）	国本／檜川（%）	流域平均（mm）	ピーク雨量発生日時		檜川橋（mm）	国本（mm）	ピーク流入量（m³/s）	ピーク流入量発生日時		継続時間(hr) 60 m³/s以上	継続時間(hr) 5 m³/s以上	
令和2年																	
	1/27	33	122	162	93	57	23	1/29	2:00	26	23	273.79	1/29	4:10	10	92	低気圧の影響
	4/12	21	59	67	31	46	12	4/13	11:00	18	9	100.44	4/13	13:35	4	45	低気圧や前線の影響
	4/18	15	96	103	99	96	16	4/18	13:00	15	18	152.98	4/18	16:00	8	42	低気圧の影響
	7/3	33	157	81	92	114	35	7/4	6:00	26	50	158.26	7/4	8:50	6	134	梅雨前線の影響
令和3年																	
	3/28	10	59	93	48	52	21	3/29	3:00	32	19	127.51	3/29	6:57	5	33	低気圧の影響
	7/1	59	293	348	191	55	17	7/3	9:00	17	17	192.85	7/3	15:20	39	152	梅雨前線の影響
	8/8	17	146	242	65	27	23	8/8	10:00	51	9	359.42	8/8	14:40	19	66	台風10号
	9/9	15	93	139	84	60	22	9/9	16:00	41	21	181.90	9/9	18:12	10	46	前線の影響
	10/1	23	140	254	52	20	18	10/1	10:00	35	6	337.68	10/1	14:42	22	95	台風16号
令和4年																	
	4/22	21	57	89	40	45	17	4/22	4:00	25	12	140.44	4/22	7:15	6	72	関東沖から三陸沖に進む低気圧の影響
	8/4	13	98	170	71	42	30	8/4	21:00	51	21	114.63	8/4	0:00	6	36	前線に向かって暖かく湿った空気の流れ込み
	9/18	27	138	137	137	100	25	9/18	16:00	30	29	144.40	9/18	18:59	10	71	台風14号の影響
	10/17	31	119	151	110	73	16	10/7	19:00	20	15	114.79	10/7	21:00	8	76	日本の南の前線上を低気圧が東進
令和5年																	
	5/8	23	122	136	116	85	25	5/8	9:00	27	26	169.30	5/8	11:11	9	45	低気圧、前線の影響
	6/3	26	187	202	181	90	28	6/3	5:00	32	28	217.13	6/3	10:21	20	63	台風第2号の影響
	9/8	28	398	426	397	93	83	9/8	11:00	114	73	837.46	9/8	13:42	38	74	台風第13号の影響

（1）主な出水記録（ピーク流入量100m³／s～）

出水No	出水月日	降雨継続時間（hr）	連続雨量				最大時間雨量				ダム地点流入量				降雨原因等
			流域平均（mm）	檜川橋（mm）	国本（mm）	国本／檜川（%）	流域平均（mm）	ピーク雨量発生日時	檜川橋（mm）	国本（mm）	ピーク流入量（m³/s）	ピーク流入量発生日時	継続時間(hr) 60 m³/s以上	継続時間(hr) 5 m³/s以上	
令和6年															
	3/12	12	78	87	80	92	23	3/12 19:00	28	23	163.02	3/12 22:01	5	42	前線を伴った低気圧の影響
	6/18	18	136	139	136	98	19	6/18 10:00	27	19	159.87	6/18 19:13	18	56	梅雨前線の影響
	6/21	17	60	76	51	67	21	6/21 13:00	27	18	114.33	6/21 17:02	5	88	前線の影響
	6/29	25	120	186	97	52	23	6/29 1:00	31	24	203.76	6/29 5:33	10	82	前線の影響
	7/16	6	42	27	47	174	22	7/16 22:00	10	32	125.84	7/16 23:09	2	25	梅雨前線、湿った空気の影響
	8/16	20	139	204	103	50	19	8/16 17:00	28	17	205.93	8/16 20:04	16	46	台風第7号の影響
	10/18	10	59	109	36	33	15	10/18 18:00	25	11	104.37	10/18 21:39	4	33	前線を伴った低気圧の影響
	11/2	22	98	110	97	88	28	11/2 20:00	34	27	132.31	11/2 23:18	10	68	前線を伴った低気圧の影響
	11/26	10	63	67	60	90	16	11/27 2:00	12	19	110.15	11/27 3:30	4	33	前線を伴った低気圧の影響

(2)流域平均雨量表

（上段：雨量（㎜），下段：日数）

年 月	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
1月	30	80	81	218	57	39	54	64	184	21	113	273	203	209	25	102	144	64	43	164	33	0
	4	6	8	18	12	3	7	4	16	2	11	14	7	7	6	8	15	5	7	10	4	0
2月	223	121	46	124	138	63	47	62	176	73	10	52	63	83	47	88	190	85	78	113	185	165
	20	6	7	7	8	6	9	9	10	7	2	7	6	11	7	9	8	8	12	7	12	14
3月	168	219	275	115	287	215	160	146	120	242	205	174	168	229	195	124	132	121	191	176	227	106
	13	15	20	14	13	17	12	12	14	16	10	9	9	13	14	10	11	7	12	12	14	10
4月	192	170	244	58	143	123	62	140	232	338	175	92	75	196	121	132	254	149	260	173	274	101
	16	12	14	10	10	11	10	11	14	16	11	12	11	18	9	9	16	14	12	8	16	9
5月	174	105	259	88	214	297	163	198	183	162	136	160	138	195	169	179	157	193	338	249	107	284
	11	9	15	8	9	15	9	13	14	9	9	16	13	17	12	7	18	10	16	13	12	13
6月	166	179	342	249	116	310	84	199	246	142	318	145	289	78	229	274	125	75	324	213	168	215
	11	13	14	17	12	19	9	17	14	13	15	10	15	14	9	12	9	9	16	10	12	11
7月	120	73	70	349	64	131	451	244	297	291	277	8	210	272	57	231	203	435	16	119	138	76
	5	7	10	18	8	13	8	12	16	13	7	4	10	18	6	12	9	17	5	11	10	10
8月	172	187	44	289	53	5	44	13	105	111	40	242	237	351	154	304	164	10	155	285	19	77
	11	14	14	12	8	1	10	3	12	10	7	8	7	12	7	9	8	5	11	6	4	13
9月	346	473	138	204	386	291	475	202	307	69	243	285	316	166	220	141	274	336	191	47	415	213
	16	17	11	15	15	7	10	19	16	12	16	15	16	6	11	7	12	10	11	5	10	11
10月	230	753	309	208	123	205	157	50	134	138	171	410	175	183	822	207	423	212	269	308	408	254
	14	19	14	14	10	9	12	9	13	7	11	11	11	10	17	17	12	9	12	14	16	13
11月	483	118	184	206	77	72	136	136	32	110	101	176	36	389	200	45	182	59	114	248	160	166
	11	9	9	7	6	5	10	12	4	8	10	8	5	17	11	4	10	10	12	16	10	10
12月	59	58	75	114	40	7	91	73	68	16	27	86	144	59	118	8	283	119	117	155	168	116
	6	7	8	13	7	2	4	8	6	3	7	6	13	8	7	2	11	6	8	8	8	8
年計	2,363	2,536	2,067	2,222	1,698	1,758	1,924	1,527	2,084	1,713	1,816	2,103	2,054	2,410	2,357	1,835	2,531	1,858	2,096	2,250	2,302	1,773
	138	134	144	153	118	108	110	129	149	116	116	120	123	151	116	106	139	110	134	120	128	122

(2)流域平均雨量表

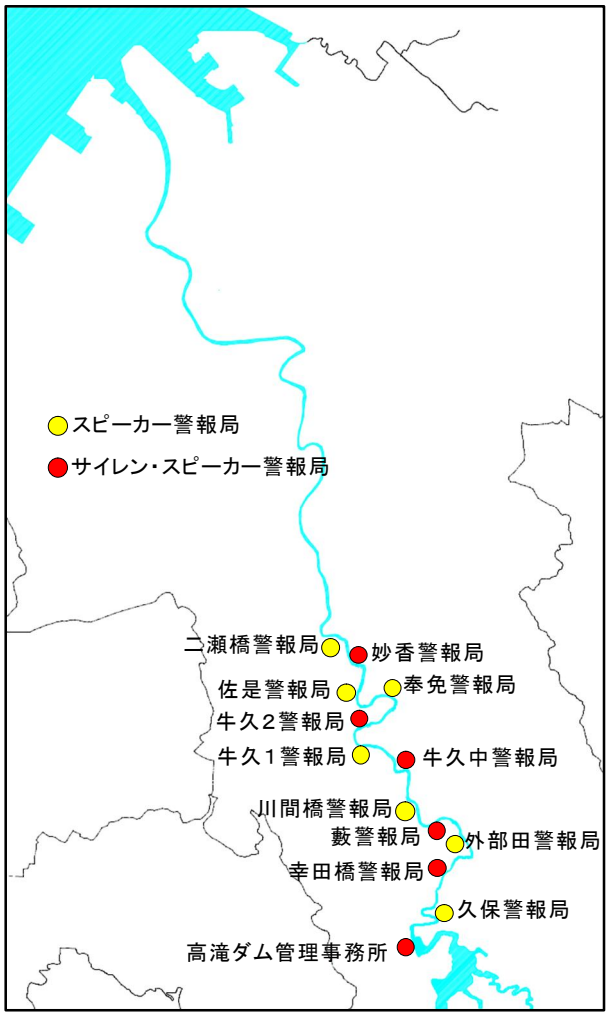
（上段：雨量（㎜），下段：日数）

年 月	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	平均
1月	86	69	83	142	89	98	117	21	190	97	41	50	67	96
	6	9	8	9	5	4	9	4	10	8	9	9	8	8
2月	157	124	124	117	112	26	18	81	37	88	128	63	126	98
	10	12	10	9	7	7	7	12	7	3	7	5	14	9
3月	253	72	196	178	189	151	291	134	188	252	153	1	310	182
	14	10	8	12	11	14	10	12	14	12	13	1	14	12
4月	201	268	155	192	185	210	114	166	220	193	368	53	197	178
	12	9	10	13	14	9	8	12	11	9	15	2	17	12
5月	236	124	155	130	207	96	208	145	111	151	238	202	267	183
	12	11	8	8	8	8	11	9	14	12	13	12	12	12
6月	256	284	384	192	220	169	271	301	243	150	129	301	398	222
	15	16	15	11	14	10	14	14	13	11	12	14	11	13
7月	126	26	61	322	111	28	136	272	404	418	115	43	98	180
	13	5	10	14	10	4	9	21	23	15	12	5	10	11
8月	31	57	136	134	308	157	96	59	42	247	235	126	306	143
	7	5	9	9	14	18	9	8	4	11	14	13	11	9
9月	193	230	97	549	300	347	367	314	152	271	247	469	194	271
	17	13	10	16	18	16	20	9	17	14	16	12	12	13
10月	335	625	327	114	120	639	163	652	221	292	208	158	292	294
	15	16	12	7	11	16	11	16	12	16	13	7	18	13
11月	225	73	121	182	205	205	109	242	33	159	177	116	202	157
	11	12	11	15	11	11	14	12	6	7	9	9	13	10
12月	154	80	168	133	118	30	81	102	30	167	89	35	3	91
	10	6	8	8	7	3	8	11	4	7	7	5	1	7
年計	2,253	2,032	2,007	2,385	2,164	2,156	1,971	2,489	1,871	2,485	2,128	1,617	2,460	2,094
	142	124	119	131	130	120	130	140	135	125	140	94	141	127

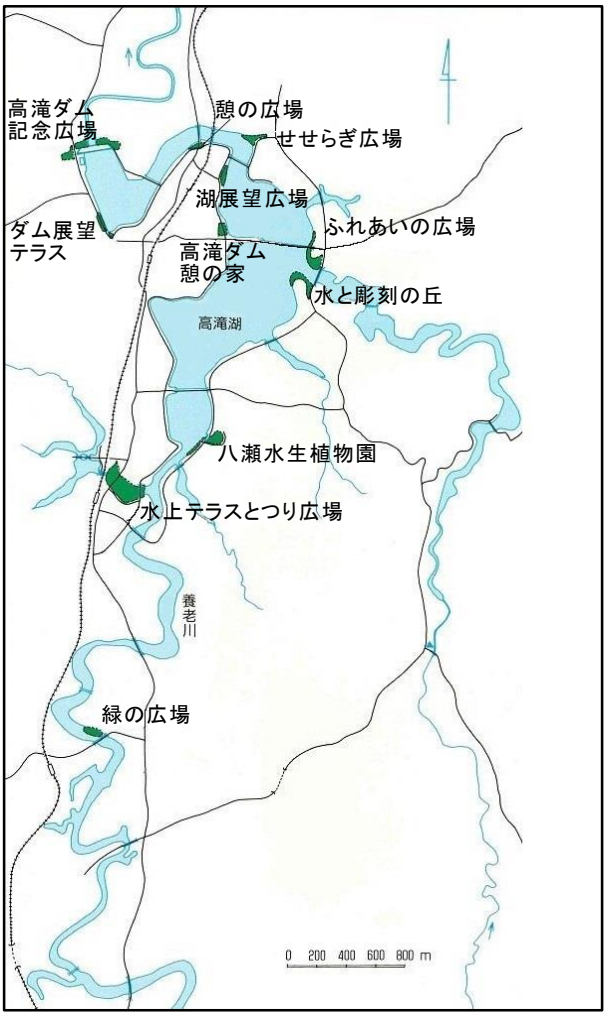
年 月	令和 7年
1月	48
	3
2月	26
	4
3月	233
	16
4月	245
	14
5月	257
	15
6月	126
	11

※令和7年の記録
（6月まで）

(3)警報局等位置図



(4)高滝湖畔公園位置図



【 歴 代 所 長 】

養老川総合開発調査事務所

昭和47. 4. 1 ～	昭和49. 3. 31	長浜正一郎

養老川総合開発事務所

昭和49. 4. 1 ～	昭和53. 3. 31	長浜正一郎
昭和53. 4. 1 ～	昭和57. 3. 31	葉山信利
昭和57. 4. 1 ～	昭和59. 3. 31	鎌田恵造
昭和59. 4. 1 ～	昭和61. 3. 31	高橋賢悟
昭和61. 4. 1 ～	昭和63. 3. 31	仲野昭義
昭和63. 4. 1 ～	平成 2. 3. 31	飯倉幹雄

高滝ダム管理事務所

平成 2. 4. 1 ～	平成 3. 3. 31	武藤知行
平成 3. 4. 1 ～	平成 4. 3. 31	樋山健成
平成 4. 4. 1 ～	平成 7. 3. 31	石井輝久雄
平成 7. 4. 1 ～	平成 9. 3. 31	鈴木　稔
平成 9. 4. 1 ～	平成11. 3. 31	峯島万幸
平成11. 4. 1 ～	平成12. 3. 31	菅根弘次
平成12. 4. 1 ～	平成13. 3. 31	御園信夫
平成13. 4. 1 ～	平成15. 3. 31	渡辺清美
平成15. 4. 1 ～	平成16. 3. 31	鎗田正和
平成16. 4. 1 ～	平成18. 3. 31	志田宣夫
平成18. 4. 1 ～	平成19. 3. 31	伊藤幸雄
平成19. 4. 1 ～	平成20. 3. 31	矢部喜幸
平成20. 4. 1 ～	平成21. 3. 31	佐々木徹
平成21. 4. 1 ～	平成23. 3. 31	児安哲司
平成23. 4. 1 ～	平成24. 3. 31	齊藤美和
平成24. 4. 1 ～	平成25. 3. 31	横田範雄
平成25. 4. 1 ～	平成27. 3. 31	片岡嘉雅
平成27. 4. 1 ～	平成28. 3. 31	飯高利則
平成28. 4. 1 ～	平成30. 3. 31	土屋隆二
平成30. 4. 1 ～	令和 2. 3. 31	畠山正夫
令和 2. 4. 1 ～	令和 3. 3. 31	大塚和裕
令和 3. 4. 1 ～	令和 5. 3. 31	日野泰宏
令和 5. 4. 1 ～	令和 6. 3. 31	麻生雅通
令和 6. 4. 1 ～		小林弘樹

案内図

※小湊鉄道高滝駅から徒歩 15 分

高滝ダム管理事務所

〒290-0557　　市原市養老 468

Tel　0436-98-1411　　Fax　0436-98-1414

https://www.pref.chiba.lg.jp/d-takataki